

## 11. 福祉施設／高齢者用施設

### ◆老人福祉センター

#### ①施設の防災面の視点

可児市地域防災計画では、老人福祉センター可児川苑は指定福祉避難所（第1次）に、老人福祉センター福寿苑・やすらぎ館は指定福祉避難所（第2次）に指定されています。また老人福祉センターは、災害時の優先電話の設置場所にも指定されています。

#### ②マネジメント基本方針等で示された課題

（※数値等は個別施設計画策定時【R2.12】のものであり、その後変更となっている場合があります。）

##### ◆今後の利用状況

各老人福祉センターで利用者の所在地に偏りがあるので、今後の利用状況を把握するためには、地区ごとの高齢者数を把握していくことが必要です。

また、老人福祉センターは規模が大きく、様々な機能を擁しているため、更新費用が多額となることが予想されること、他の施設への機能移転することは課題があります。

#### ③施設の今後の方向性

##### ◆高齢者の居場所づくりの拡充

老人福祉センターには、健康の増進や教養の向上およびレクレーションのための便宜を総合的に供与し、趣味や楽しみなど互いのコミュニケーションを図る場でもあることから、高齢者が楽しく健康的な生活を送るために有意義な施設です。今後、高齢者は増加すると推計されており、市民アンケートにおいても最もニーズが高いサービス分野となっています。

施設利用者は、高齢化が進むことにより移動手段が限られていくため、さつきバスの運行方法の改善など施設へのアクセス方法をより充実させる必要があると考えます。また現在の施設のほかに、より身近な地区センターを含めた地域に高齢者の居場所づくりを検討します。

##### ◆必要な機能の再検証

地域拠点となる老人福祉センターの建替え時には、入浴機能、教養娯楽室等の付加機能についての必要性を再度検討します。

#### ④ライフサイクルコスト削減の目標

##### (1) 施設の長寿命化検討

【長寿命化により令和 33 年以降の建替えとなる施設】

福寿苑

検討効果 15 億 4,200 万円縮減

##### (2) 施設規模の縮小検討

人口推計では、高齢者は増加する見込みであることや、今後の施設ニーズが高く、現状規模維持が適当と考えます。

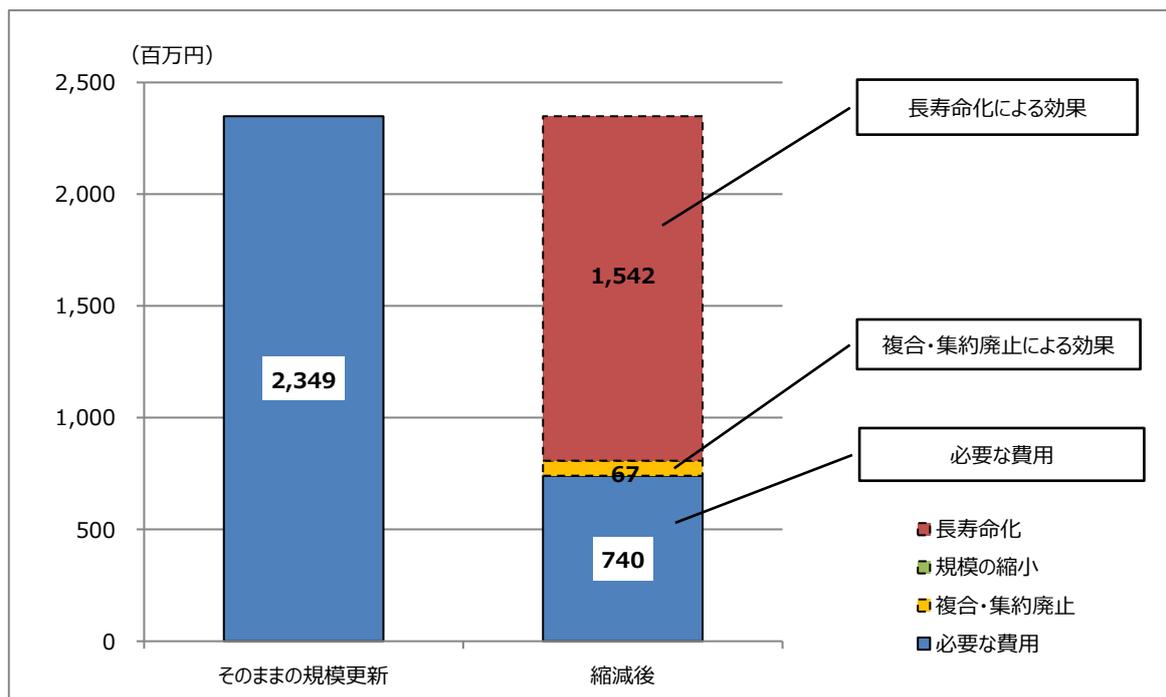
##### (3) 複合・集約廃止の検討

【検討の対象となる施設】

福寿苑（旧デイサービスセンター）

検討効果 6,700 万円縮減

【図 2-11】 縮減イメージ



#### ◆ライフサイクルコストの削減の対象とならない施設（平成3年以降建築）

老人福祉センターやすらぎ館